

経営比較分析表（令和2年度決算）

神奈川県 平塚市

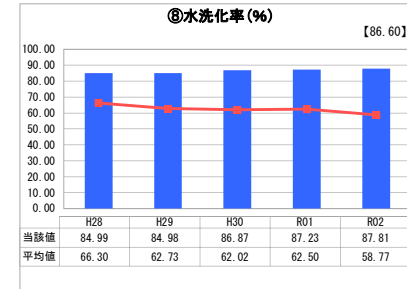
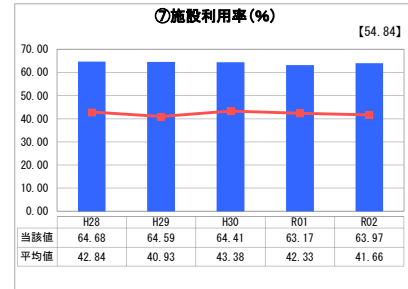
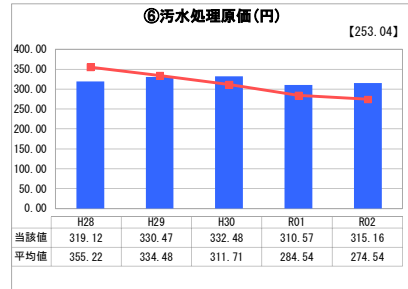
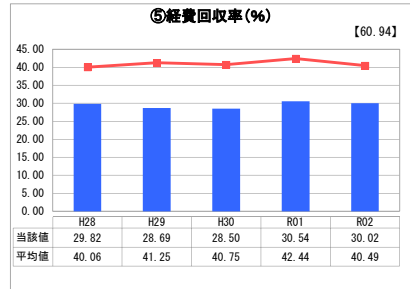
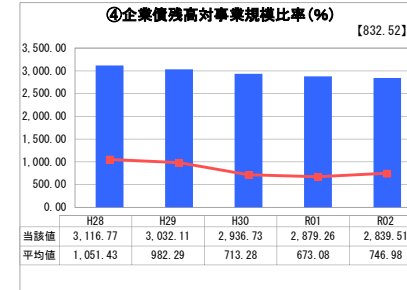
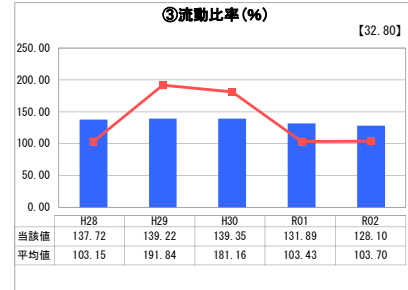
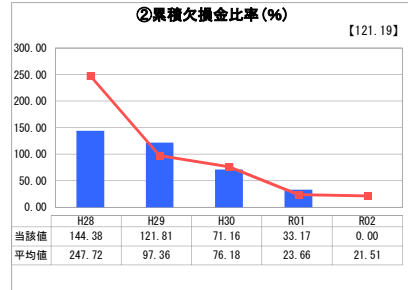
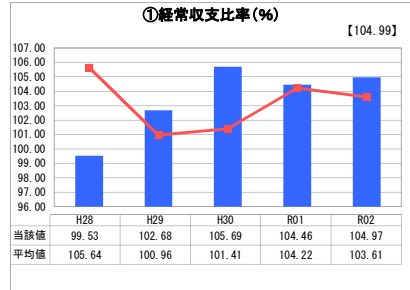
業務名	業種名	事業名	類似団体区分	管理者の情報
法適用	下水道事業	農業集落排水	F3	非設置
資金不足比率(%)	自己資本構成比率(%)	普及率(%)	有収率(%)	1か月20m ³ 当たり家産料金(円)
-	52.78	1.12	93.41	1,998

人口(人)	面積(km ²)	人口密度(人/km ²)
256,652	67.82	3,784.31
処理区域内人口(人)	処理区域面積(km ²)	処理区域内人口密度(人/km ²)
2,864	1.24	2,309.68

グラフ凡例

- 当該団体値（当該値）
- 類似団体平均値（平均値）
- 令和2年度全国平均

1. 経営の健全性・効率性



分析欄

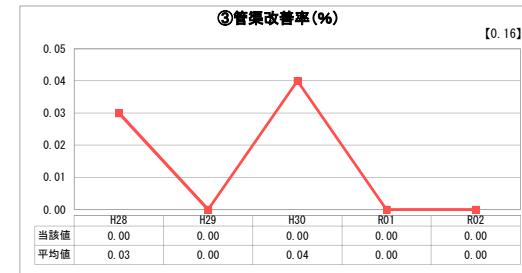
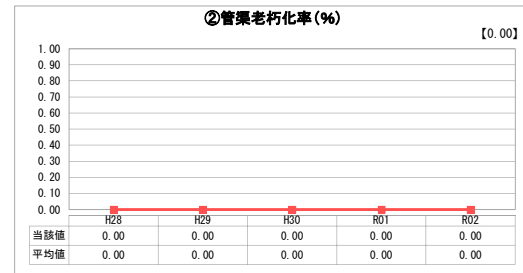
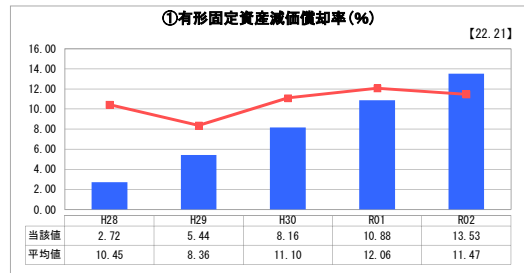
1. 経営の健全性・効率性について

① 経常収支比率は100%超を維持してきたことで、② 累積欠損金比率を0%に（累積欠損金を解消）することができました。
 ⑦ 施設利用率及び⑧ 水洗化率は全国平均及び類似団体平均値を上回っていますが、⑤ 経費回収率は全国平均及び類似団体平均値より低く、また、⑥ 汚水処理原価は全国平均及び類似団体平均値より高い状況が継続しており、経営状況の厳しさを表しています。引き続き、未接続世帯に対する接続促進に取り組み、有収水量の増加に努めるとともに、様々な課題を中長期的な視点で検討する必要があります。
 ④ 企業債残高対事業規模比率は全国平均及び類似団体平均値を大きく超えています。事業の概成により企業債の新規借入れがなく、数値は低減傾向が続く見込みですが、一方で使用料収益の大幅な増加も見込めないことから、平均値との乖離状況は続くものと見込まれます。

2. 老朽化の状況について

① 有形固定資産減価償却率、② 管渠老朽化率及び③ 管渠改善率について、事業概成により新たな固定資産の取得がないこと、また、事業供用開始からの経過年数が10年であることから、現状では老朽化に関する喫緊の課題は発生していません。当面は施設の管理を適切に行い、施設の安定稼働に努めます。

2. 老朽化の状況



全体総括

平均を上回る指標もありますが、高い汚水処理原価となっている経費を一般会計からの繰入により補っている非常に厳しい経営状況です。当面は、接続率向上や経費回収率の改善等の課題に取り組み、経営の効率化を図りながら、中長期的には、広域化・共同化や適正な料金水準等あらゆる面で検討していく必要があります。

※ 「経常収支比率」、「累積欠損金比率」、「流動比率」、「有形固定資産減価償却率」及び「管渠老朽化率」については、法非適用企業では算出できないため、法適用企業のみ類似団体平均値及び全国平均を算出しています。